

株式会社メニコン

2026年3月期 第2四半期決算説明会

証券コード：7780

2025年11月17日

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

株式会社メニコン、代表執行役社長の川浦です。
皆様、本日は当社の決算説明会にご参加いただきまして誠に
ありがとうございます。
それでは始めさせていただきます。

目次



- Ⅰ 2026年3月期第2四半期 連結業績概要
- Ⅱ 2026年3月期通期 連結業績予想と見通し

1



本日の内容はご覧の通りです。

I .2026年3月期第2四半期 連結業績概要

2

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

まず始めに、2026年3月期第2四半期の連結業績概要についてご説明いたします。

2026年3月期 連結業績サマリー



1DAY販売拡大及び価格改定効果により、売上総利益・EBITDAは増益

(百万円)	2025/3期2Q	2026/3期2Q	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	60,571	61,480	+1.5%	+1.9%
売上原価	27,770	28,205	+1.6%	+1.7%
(原価率)	45.8%	45.9%	(+0.1pt)	-
売上総利益	32,801	33,275	+1.4%	+2.0%
販売費及び一般管理費	27,313	28,106	+2.9%	+3.0%
(売上高販管費率)	45.1%	45.7%	(+0.6pt)	-
営業利益	5,487	5,168	△5.8%	△2.7%
(売上高営業利益率)	9.1%	8.4%	(△0.7pt)	-
EBITDA*	9,455	10,003	+5.8%	+7.6%
(EBITDAマージン)	15.6%	16.3%	(+0.7pt)	-
経常利益	5,618	5,016	△10.7%	△7.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	3,622	3,153	△12.9%	△8.6%

2025/3期2Qにおける実勢レート EUR : 165.8円、USD : 152.5円、CNY : 21.3円

2026/3期2Qにおける実勢レート EUR : 168.7円、USD : 146.1円、CNY : 20.3円

(参考)過去の数値は以下のデータブックよりご確認いただけます。
<https://www.menicon.co.jp/company/ir/databook.html> 3

* EBITDAは営業利益、減価償却費、のれん償却から算出

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

売上高は、前年同期比1.5%増の614億円となりました。中国でのオルソケラトロジー関連売上高の減少があったものの、1DAYの販売拡大や国内での値上げ効果などの結果、売上総利益は、1.4%増の332億円となり、増益に転じました。

マレーシア工場の稼働準備など将来の成長のための投資を継続していることもあり、営業利益は5.8%減の51億円、一方でEBITDAは5.8%増の100億円となりました。

中間純利益は、12.9%減の31億円でした。

尚、営業利益は、第2四半期のみの3ヵ月間においては、14.3%増の32億円と回復基調になっております。

売上高の内訳



1DAYの供給量増加とグローバルでの販売拡大により、1DAYを中心に伸長

(百万円)	2025/3期 2Q	2026/3期 2Q	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	60,571	61,480	+1.5%	+1.9%
ビジョンケア*	56,295	57,278	+1.7%	+2.1%
1DAY	15,389	16,497	+7.2%	+7.2%
国内_メルスブラン	11,195	11,533	+3.0%	-
国内_物販	2,777	3,273	+17.9%	-
海外	1,416	1,689	+19.3%	+19.1%
オルソケラトロジー関連	7,656	6,800	△11.2%	△7.9%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	33,249	33,980	+2.2%	+2.1%
ヘルスケア・ライフケア	4,276	4,202	△1.7%	△1.5%
1DAY+その他コンタクトレンズ・レンズケア	48,638	50,478	+3.8%	+3.7%
メルスブラン	24,883	25,189	+1.2%	-

* 2025/3期2Qにおける実勢レート EUR : 165.8円、USD : 152.5円、CNY : 21.3円

2026/3期2Qにおける実勢レート EUR : 168.7円、USD : 146.1円、CNY : 20.3円

* オルソケラトロジー関連に含まれるオルソK（グローバル）は、2026/3期より集計方法を一部見直し

4

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

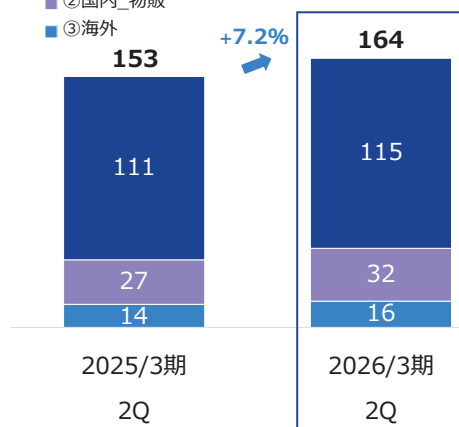
売上高の内訳はご覧の通りです。

「1DAY」及び「その他コンタクトレンズ・レンズケア」においては、1DAYの供給量増加や国内での値上げ効果などにより、前年同期比で増収となりました。

また、為替の影響を除いた前年との比較を表の右端に記載しておりますが、オルソケラトロジー関連については中国の第2四半期である4月から6月が円高に推移したことにより為替の影響がやや大きく表れています。

増産や国内での新製品導入による供給量増加が起因し、グローバルでの販売拡大により伸長

(億円) ■ ①国内_メルスプラン
■ ②国内_物販
■ ③海外



① 国内_メルスプラン（前年同期比：+3.3億円 +3.0%）

- ・ 新製品導入による供給量増加でメルス会員数増加
- ・ 価格改定効果

② 国内_物販（前年同期比：+4.9億円 +17.9%）

- ・ 増産や新製品導入による供給量増加で販売拡大
- ・ 価格改定効果

③ 海外（前年同期比：+2.7億円 +19.3%）

- ・ 欧州での量販チェーン向け販売拡大
- ・ 東南アジアでの販売会社のM&A効果

5

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

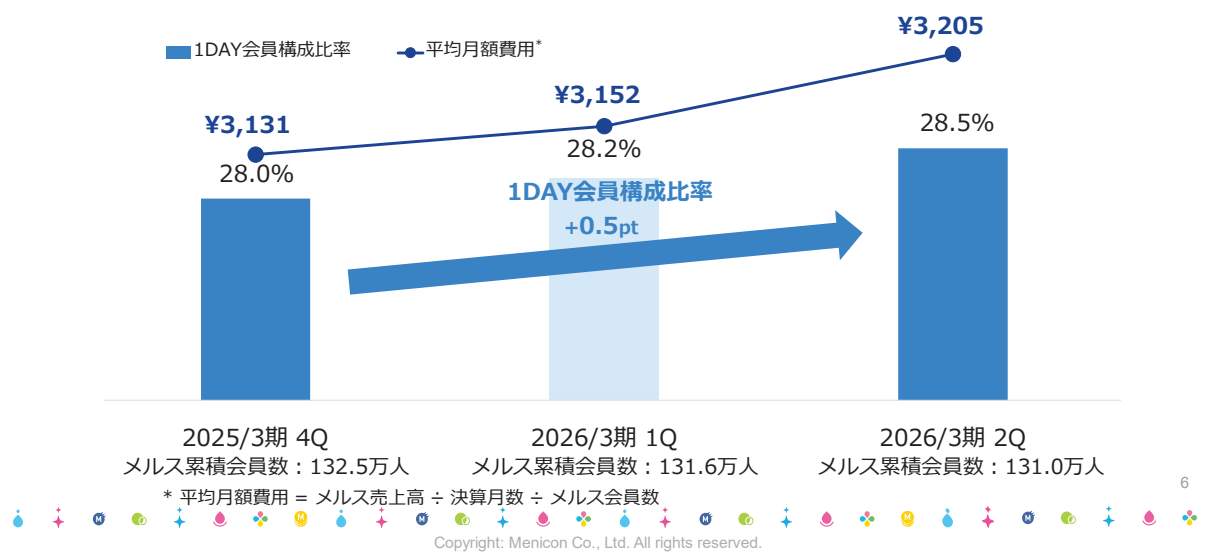
1 DAYの売上高は、前年同期比 1.1 億円増の 164 億円となりました。

グローバルで需要の強いシリコン素材の1 DAYについては、増産および国内におけるOEM品導入により供給量が増加し、売上高の拡大に寄与しました。

これに加え、海外では非シリコン素材の1 DAYの量販チェーン向け販売拡大や、東南アジアでの販売会社のM&A効果も加わり、増収となりました。

その結果、前年同期比でメルスプランは3.3 億円、国内物販は4.9 億円、海外は2.7 億円の増収となっております。

新製品を中心とした1DAY構成比率の上昇、価格改定による平均月額費用の増加



こちらのグラフは、メルスプランの会員構成と平均月額費用の推移を示しております。

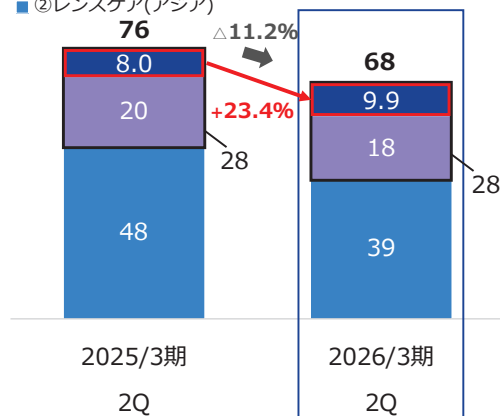
会員数全体は、6月下旬の値上げの影響で退会数が増加したことにより、減少しております。

一方、需要の強いシリコン素材の1DAYにおいてOEM品を導入したことにより、1DAYの会員数は増加し、1DAY構成比率も上昇いたしました。

平均月額費用は、値上げ効果もあり上昇しており、売上高は継続的に増加しております。

中国での景気停滞影響や競争環境激化が継続する一方、国内等で販売拡大

（億円） ■ ①オルソK(グローバル)_国内・欧州等
■ ①オルソK(グローバル)_中国
■ ②レンズケア(アジア)



① オルソK(グローバル)* (前年同期比：△0.3億円 △1.1%)

- ・ 国内：当社取扱施設拡大（+1.6億円）
- ・ 韓国/東南アジア：販売拡大
- ・ 中国：景気停滞による代替製品の普及等により販売減少（△2.1億円）

② レンズケア(アジア) (前年同期比：△8.2億円 △17.2%)

- ・ 中国：前年同期は大規模な販促活動実施により売上増加、オルソK代替品普及や競争環境激化、円高による影響（△10.2億円）

* オルソK（グローバル）は、2026/3期より集計方法を一部見直し

7

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

「オルソケラトロジー関連」の売上高は、前年同期比 8.5 億円減の 68 億円となりました。

“オルソケラトロジーレンズ”の売上高は 28 億円で、前年同期比ではほぼ横ばいとなりました。

中国では競争環境の激化により売上高が減少した一方で、中国以外の地域では伸長しました。

国内では、取扱施設数の拡大が売上高の伸長に寄与しております。

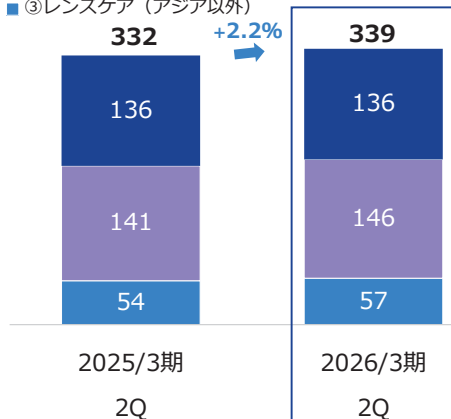
“レンズケア（アジア）”セグメントにはアジア地域でのレンズケアの売上高を含みます。

中国における競争環境について第1四半期と大きな変化はありませんでしたが、中国元が円高で推移したことが減収要因の一つとなっております。

国内での価格改定効果に加え、欧州での1MONTH販売拡大等により伸長

(億円)

- ①メルスプラン
- ②コンタクトレンズ
- ③レンズケア（アジア以外）



① メルス（前年同期比：△0.3億円 △0.2%）

- ・ 1DAY需要増加により1DAY以外の会員数減少
- ・ 価格改定効果

② コンタクトレンズ（前年同期比：+5.1億円 +3.6%）

- ・ 欧州での1MONTH販売拡大、東南アジアでのM&A効果
- ・ 価格改定効果

③ レンズケア（アジア以外）（前年同期比：+2.4億円 +4.6%）

- ・ 国内での高単価製品の販売拡大
- ・ 北米での新規取引開始による販売拡大

8

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

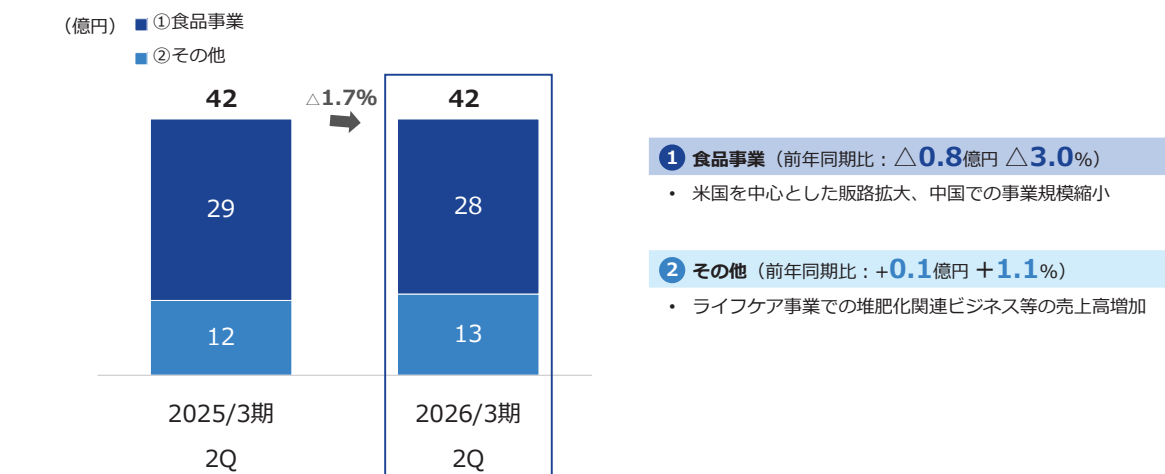
1 DAY、オルソケラトロジー関連を除く「その他コンタクトレンズ・レンズケア」の売上高は、前年同期比7億円増の339億円となりました。

1 DAYを除く“メルスプラン”は、ハードコンタクトレンズなどの従来レンズが需要縮小傾向にある中でも、値上げ効果が寄与し、売上高は横ばいを維持しました。

“コンタクトレンズ”は、欧州における1 MONTHの販売拡大や東南アジアでのM&A効果により、増収となりました。

“レンズケア”（アジア以外）は、国内における高単価製品の販売拡大に加え、北米における新規チャネルへの販売開始により増収となりました。

食品事業が減少する一方、ライフケア事業での堆肥化関連ビジネス伸長により横ばい



9

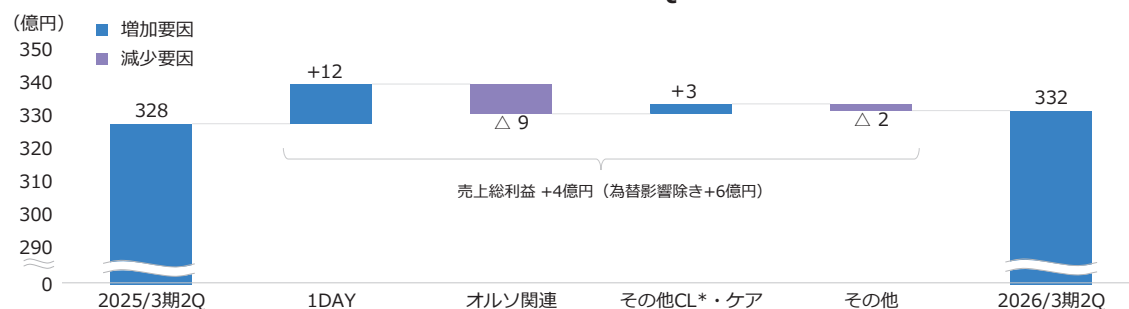
Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

ヘルスケア・ライフケア事業の売上高は、前年同期比0.7億円減の42億円となりました。
食品事業の売上高が減少しましたが、ライフケア領域における堆肥化関連ビジネスで売上高が増加しております。

前年実績と今回実績の増減分析（売上総利益）



1DAY売上高増加や価格改定効果により、売上総利益は2Qで増益に転じる



・主な増減理由

項目	
1DAY	メルスプラン1DAY会員数増加や国内外での販売拡大、価格改定効果
オルソ関連	国内で販売拡大する一方、中国での景気停滞影響や競争環境激化等による影響
その他CL*・ケア	欧州での1MONTH販売拡大、国内/北米でのレンズケア販売拡大、価格改定効果
その他	ヘルスケア・ライフケアの利益率良化、会計処理等

* コンタクトレンズの略称

10

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

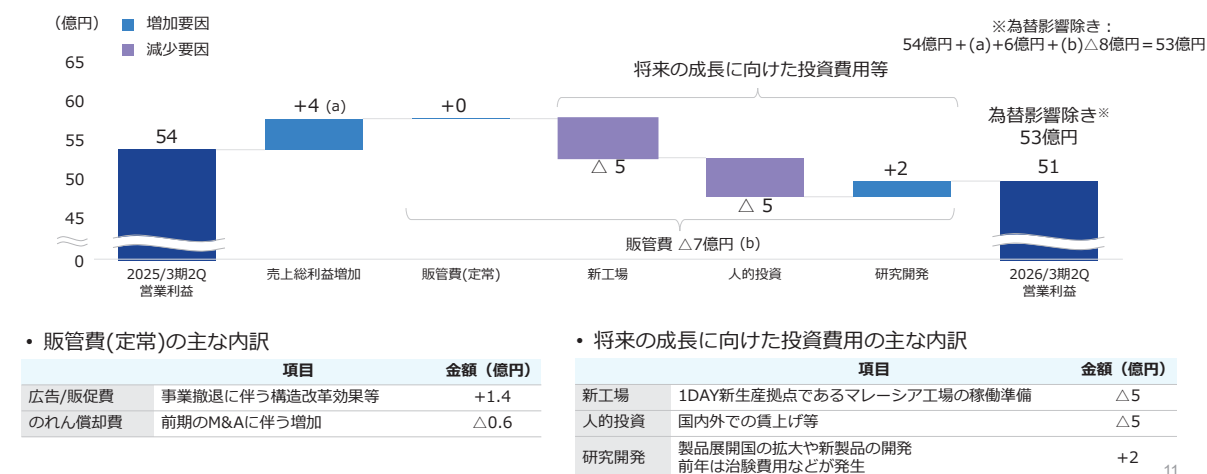
こちらは、売上総利益について、前年同期と比較した増減要因を示しております。

「オルソケラトロジー関連」の売上高減少による売上総利益への影響はあるものの、「1DAY」及び「その他のコンタクトレンズ・レンズケア」における販売拡大や値上げ効果により、前年同期比で4億円の増益となりました。

前年実績と今回実績の増減分析（営業利益）



新工場稼働準備費用等の成長投資が増加する一方、構造改革効果により効率的に販管費を使用



こちらのグラフでは、営業利益について、前年同期と比較した増減要因を示しております。

販管費は、定常的な費用と将来の成長に向けた投資費用に分けて示しております。

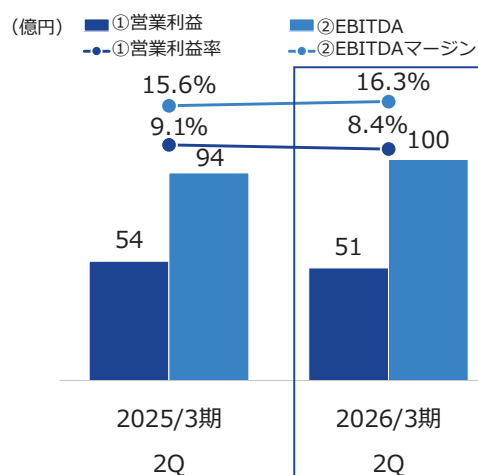
定常的な費用は前年同期比で横ばいとなり、前年度に実施した事業撤退や構造改革による収益性改善の効果が表れております。

将来の成長に向けた投資費用の増加要因としては、マレーシア工場の稼働準備や従業員の賃上げによる人的投資等が挙げられます。

連結営業利益・EBITDA



成長投資を継続する一方、収益性が向上し、EBITDAは増益



① 営業利益 (前年同期比: $\Delta 3.1$ 億円 $\Delta 5.8\%$)
営業利益率 (前年同期比: $\Delta 0.7$ pt)

- 売上総利益: $+4.7$ 億円 (328億円 $\rightarrow$ 332億円)
1DAY販売拡大や国内での価格改定効果
- 販管費: $+7.9$ 億円 (273億円 $\rightarrow$ 281億円)
成長投資(新工場/人的投資/研究開発)を継続
広告販促など活動費用を継続して効率化

② EBITDA (前年同期比: $+5.4$ 億円 $+5.8\%$)
EBITDAマージン (前年同期比: $+0.7$ pt)

- 減価償却費: $+7.9$ 億円 (37.3億円 $\rightarrow$ 45.3億円)
主に1DAY設備投資(マレーシア工場含む)分増加

12

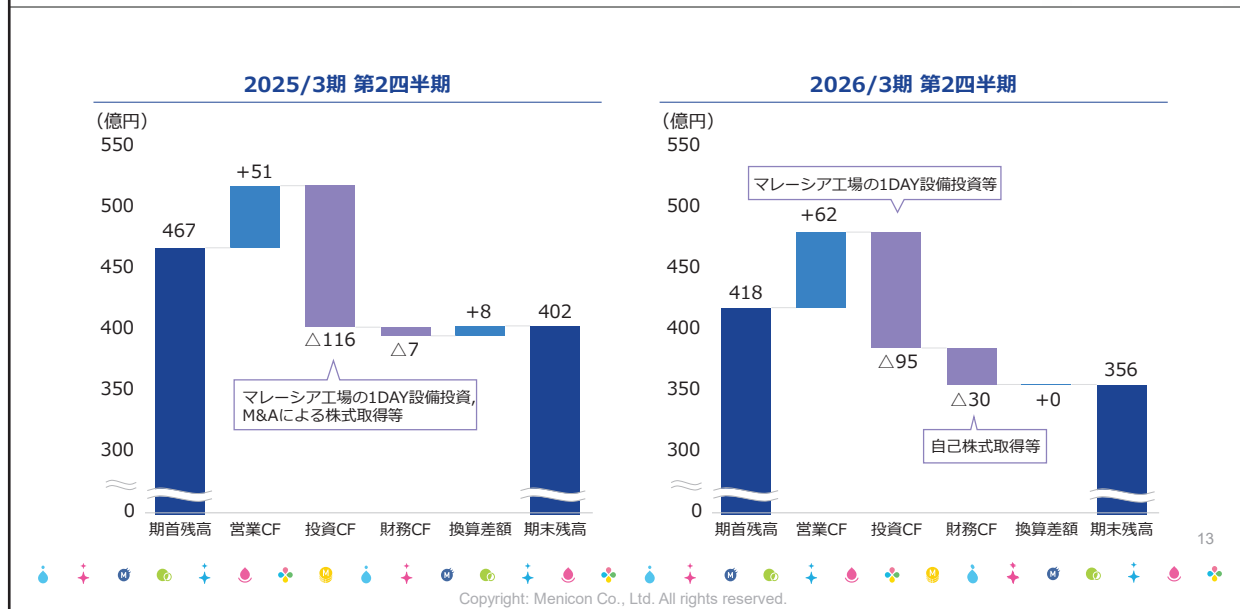
Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

営業利益についてご説明いたします。

営業利益は、マレーシア工場を含む1DAYの設備投資に伴う減価償却費の増加などにより、前年同期比で減益となりました。

一方、EBITDAは増益となっており、事業の基礎的な収益力は拡大しております。

連結キャッシュフロー比較



こちらは、キャッシュフローを示しています。

事業収益の拡大により営業キャッシュフローは増加し、基礎的なキャッシュ創出力は強化されています。

一方で、当期は引き続き投資実行期にあり、生産能力拡大などの成長投資を継続しました。

また、自己株式の取得等により、財務キャッシュフローはマイナスとなり、期末残高は期初を下回りましたが、財務体質は健全に維持しております。

Ⅱ.2026年3月期通期 連結業績予想と見通し

14

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

ここからは、2026年3月期の連結業績予想と見通しに関してご説明いたします。

2026年3月期 連結業績予想と進捗状況



2Q実績は概ね想定通りに進捗、連結業績予想は5月から変更なし

(百万円)	2025/3期 実績*	2026/3期 2Q実績	2026/3期 予想	進捗率
売上高	121,491	61,480	125,000	49.2%
売上原価	56,456	28,205	58,900	47.9%
(原価率)	46.5%	45.9%	47.1%	---
売上総利益	65,034	33,275	66,100	50.3%
販売費及び一般管理費	55,022	28,106	55,900	50.3%
(売上高販管費率)	45.3%	45.7%	44.7%	---
営業利益	10,012	5,168	10,200	50.7%
(売上高営業利益率)	8.2%	8.4%	8.2%	---
EBITDA	18,457	10,003	19,200	52.1%
(EBITDAマージン)	15.2%	16.3%	15.4%	---
経常利益	9,567	5,016	9,500	52.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,597	3,153	5,800	54.4%

2025/3期における実勢レート

2026/3期2Qにおける実勢レート

2026/3期(予想)における前提為替レート

EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円

EUR : 168.7円、USD : 146.1円、CNY : 20.3円

EUR : 161.2円、USD : 142.6円、CNY : 19.0円

* 2026/3期1Qにおいて、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025/3期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

15

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

売上高および売上総利益以下の各段階利益は、第2四半期において社内計画に対して概ね想定通りに推移しております。これにより、通期業績予想は5月14日に公表した内容から変更はございません。

売上高の内訳と進捗状況



2Q実績は概ね想定通りに進捗

(百万円)	2025/3期 実績	2026/3期 2Q実績	2026/3期 予想	進捗率
売上高	121,491	61,480	125,000	49.2%
ビジョンケア	112,327	57,278	116,100	49.3%
1DAY	30,940	16,497	34,700	47.5%
メルスプラン	22,458	11,533	23,300	49.5%
国内物販	5,740	3,273	7,000	46.8%
海外	2,742	1,689	4,400	38.4%
オルソケラトロジー関連	14,889	6,800	12,500	54.4%
その他コンタクトレンズ・レンズ ケア	66,496	33,980	68,900	49.3%
ヘルスケア・ライフケア	9,163	4,202	8,900	47.2%

(参考) 2026/3期のメルスプラン売上高として、510億円を予想
2026/3期2Qのメルスプラン売上高は251億円（進捗率49.4%）

16

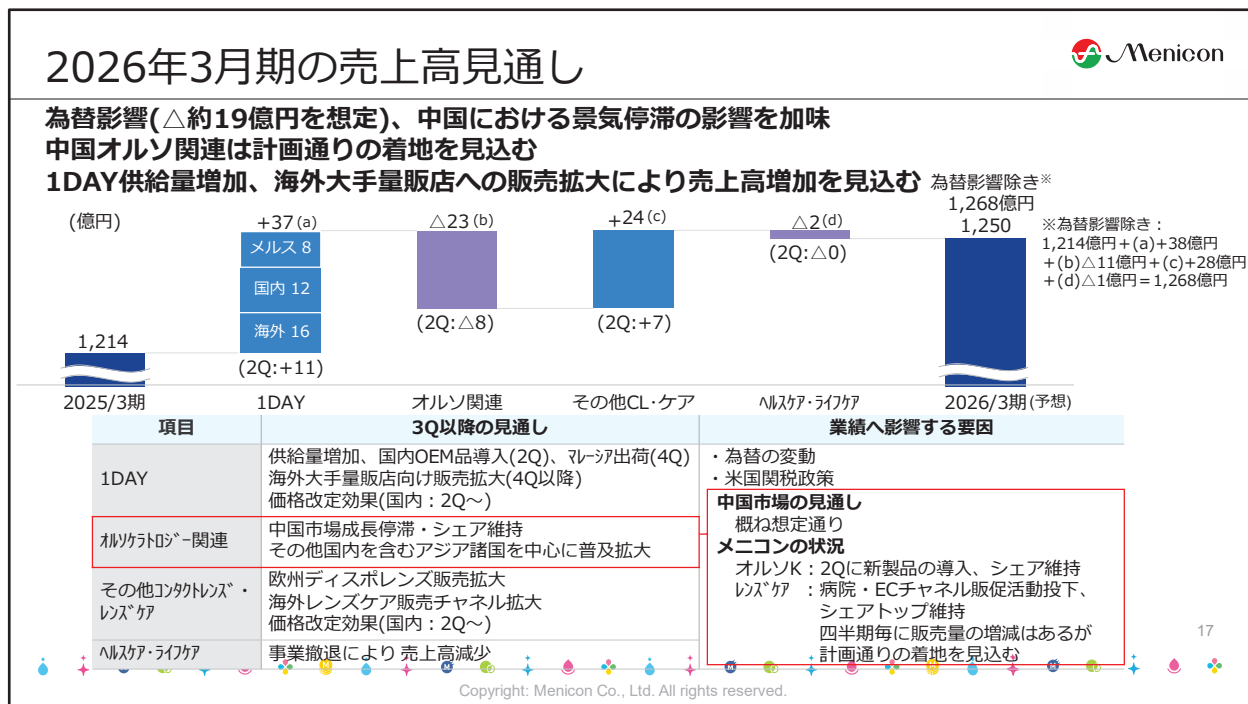


Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

こちらは、売上高別の通期予想に対する進捗を示しています。進捗は概ね想定通りです。

「1 DAY」は、供給量の増加や値上げ効果により想定通り売上高が拡大し始めております。

加えて、グローバルでの大手量販チェーン向け販売拡大、中国における販売回復などにより、通期では予想通りの着地を見込んでおります。



こちらは、売上高見通しにおける前年対比の増減要因を示しています。

「1DAY」については、増産やOEM品導入による供給量の増加により、売上拡大を見込んでおります。

また、自社生産品を海外向けに振り向けることが可能となるため、グローバルで大手量販店を中心とした販売拡大を想定しています。

「オルソケラトロジー関連」は、中国の状況に大きな変化は見られず、通期では計画通りの事業展開を見込んでおります。一方で、中国以外のアジア地域では市場の成長が続く見通しであり、普及拡大とシェア拡大を引き続き進めてまいります。

「その他コンタクトレンズ・レンズケア」については、値上げ効果に加え、欧州での1MONTHの堅調な販売、北米でのレンズケアの販売拡大により、売上増加を見込んでおります。

「ヘルスケア・ライフケア」は、一部事業撤退の影響等により、減収を見込んでおります。

投資実行期はOEM品導入により国内で販売量上乘せ、増産分を欧州・北米中心にアロケートし投資回収期に向けて販売拡大加速

国内

シリコン素材1DAY新製品導入



メルスプランにラインアップ
(2025年7月～)



取扱い施設にて販売開始
(2025年8月～)

中国

コンタクト*専門販売店のオンラインサイトで販売開始
他のECチャネルでの販売開始(2025年7月～)



欧州・北米

地域量販チェーンへの新規販売開始
大手量販店向け供給拡大(2026年3月期4Q以降)



18

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

「1 DAY」の成長戦略をご説明いたします。

1 DAYはグローバルで需要が強く、売上拡大に向け生産体制の強化を進めています。

国内市場では、投資実行期における供給量不足を補う目的で、シリコン素材の1 DAYについてOEM品を導入しました。当期はOEM品を中心にメルスプランの新規会員獲得および物販での販売拡大を図ってまいります。

欧米においては、大手量販チェーンを中心にシリコン素材の自社製1 DAYの販売拡大を第4四半期以降に見込んでおります。

また、非シリコン素材の1 DAYについても、内面に触れることなく装用できる「SMART TOUCH」機能と、プラスチック使用量を抑えた環境配慮型設計を強みに、継続的な拡販を進めてまいります。

中国市場においては、ECチャネルを通じた自社ブランド育成に注力してまいります。

1DAY成長戦略 1DAY生産体制強化



中長期的な需要拡大を見据え1DAYの生産体制を増強
マレーシア工場の稼働と生産能力増強

シリコン素材



各務原工場
製造品： 1DAYメニコン プレミオ
販売地域：グローバル
2027/3期下期：12号ライン稼働予定



マレーシア工場
製造品： 1日使い捨てコンタクトレンズ
販売地域：グローバル
2026/3期3Q：1号-2号ライン稼働開始（4Q出荷開始予定）
2027/3期下期までに5号ラインまで増設予定
2028/3期下期までに8号ラインまで増設予定



環境配慮型/非シリコン素材



シンガポール工場
製造品： Magic
販売地域：グローバル
2026/3期5月：9号ライン稼働開始
2026/3期4Q：10号ライン稼働予定



19

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

次に、これらの販売戦略を支える生産体制の強化についてご説明いたします。

1DAYにつきまして、10月末にマレーシア工場の稼働を開始いたしました。

現在2本のラインが稼働しており、段階的に稼働率を上げていく計画です。

マレーシア工場からの出荷は第4四半期ごろを予定しています。また、2027年3月期下期までに3本のライン、さらに2028年3月期下期までに3本のラインの増設に向けて準備をしています。

2027年3月期以降、マレーシア工場が本格稼働し、供給能力が強化される「投資回収期」においては、需要に応じた安定供給が可能となる見込みです。

特に、海外大手量販チェーンへの供給拡大が、グローバルにおける1DAYの販売戦略を牽引していくものと想定しております。

非シリコン素材の1DAYについては今期第4四半期にもう1ラインの稼働を予定しています。

オルソケラトロジー関連の成長戦略



オルソケラトロジーレンズは処方家の育成、複数製品の特長を活用した販売拡大
レンズケアはオルソケラトロジーレンズの拡大と共に販売拡大

欧州・北米

- ・グループ子会社を通じた処方家育成
- ・学術活動による認知拡大
- ・ソフトウェア開発による処方サポート向上



国内

- ・KOLを通じた認知拡大活動
- ・取扱施設数の拡大
- ・近視進行抑制用オルソケラトロジーレンズの開発



中国

- ・オルソケラトロジーレンズのデザイン/規格拡充
- ・ソフトウェア開発による処方サポート向上
- ・レンズケアのプロダクトポートフォリオ拡充に向けた開発・薬事承認申請

その他アジア

- ・処方家育成センターを活用した処方家育成
- ・グループ販社を通じた販売拡大
- ・インドでの臨床研究の実施による市場開拓

20

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

続いて、オルソケラトロジー関連の成長戦略についてご説明いたします。

当社は、オルソケラトロジーレンズのグローバル展開を強化し、処方件数およびユーザー層の拡大を進めております。

認知拡大活動や処方家育成を通じて処方の裾野を広げるとともに、専用ソフトウェアの開発によって処方支援体制を強化しています。

また、普及が進む中国市場などでは、複数製品の特長を活かし、より広いユーザー層への訴求を進めてまいります。

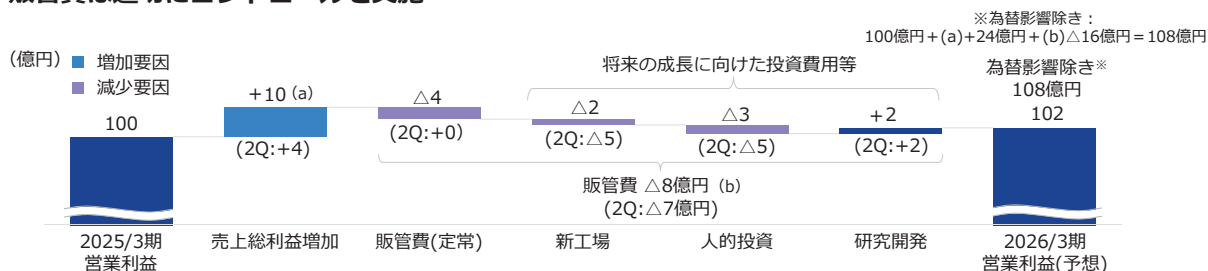
中国以外のアジア地域でも近視人口の多さを背景に市場の成長が期待されており、日本やシンガポールなどにおいても認知拡大や販売チャネルの拡充を進めます。

レンズケアについても、オルソケラトロジーレンズの使用者増加に伴う需要拡大が見込まれることから、レンズ販売と連動した拡販を推進します。

25/3期実績と26/3期予想の増減分析（営業利益）



主に1DAY販売拡大による売上総利益の増加を予想
販管費は適切にコントロールを実施



項目	3Q以降の見通し	業績へ影響する要因
売上総利益	1DAYの販売拡大、価格改定効果(国内2Q) 中国オルソ関連売上構成比減少 マレーシア工場稼働に伴う原価計上(3Q～)	・中国経済の動向、国策変化、競合環境変化 ・設備投資の進捗 ・販売状況に応じた費用の使用額の変動 ・為替の変動 ・米国関税政策
新工場	稼働準備費用増加(～2Q)、稼働後は在庫/原価へ(3Q～)	
人的投資	賃上げ等人員への投資	
研究開発	前年同様、製品展開国の拡大や新製品の開発	

21

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

次に、2026年3月期における営業利益の見通しについてご説明いたします。

まず、売上総利益についてです。

中国オルソケラトロジー関連製品の売上構成比の低下に加え、マレーシア新工場の稼働開始に伴う費用の計上が見込まれます。

一方で、1DAYの供給量増加による売上拡大が売上総利益の増加を牽引する見込みです。

続いて、販管費についてです。

マレーシア工場の稼働開始により、これまで販管費として計上していた一部費用が原価へ移行するほか、1DAY販売拡大に向けた販促活動を想定しております。

これらの結果、通期では当初予想どおり、営業利益102億円の達成を見込んでおります。

2026年3月期 連結業績予想のポイント



上半期実績： グローバルでの1DAYの販売拡大等により、「1DAY+その他CL・ケア」は市場と同程度の伸長、利益面においては価格改定効果も寄与しEBITDAは増益
下半期見通し： 「投資実行期」から「投資回収期」への転換に向けて、マレーシア工場稼働、国内外の1DAY販売活動の強化等により連結業績予想の着地を見込む

	2Q実績	前年同期比	通期業績予想（進捗率）
売上高	614億円	+1.5%	1,250億円（49.2%）
ビジョンケア事業	572億円	+1.7%	1,161億円（49.3%）
1DAY+その他CL・ケア	504億円	+3.8%	1,036億円（48.7%）
ルソフタトロン®関連	68億円	△11.2%	125億円（54.4%）
ヘルスケア・ライフケア事業	42億円	△1.7%	89億円（47.2%）
営業利益	51億円	△5.8%	102億円（50.7%）
EBITDA	100億円	+5.8%	192億円（52.1%）

22



Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

以上が、2026年3月期第2四半期までの業績概要と今後の見通しです。

上半期は、グローバルでの1DAYの販売拡大等により「1DAY」及び「その他コンタクトレンズ・レンズケア」は市場と同程度の伸長となりました。

各段階利益は値上げ効果も寄与して順調に進捗し、EBITDAは増益となりました。

下半期は、マレーシア工場の稼働開始に伴う原価率の上昇が見込まれますが、これは将来の供給力拡大に向けた一過性のものと捉えております。

また、国内外での1DAY販売活動強化を予定しております。

そのため、通期では、営業利益102億円、EBITDA192億円と、当初予想の達成を見込んでおります。

生産能力の着実な拡充とグローバルな販路の拡大を進めることで、「投資実行期」から「投資回収期」への移行を加速させ、持続的な成長に向けた基盤を強化してまいります。

ご説明は以上となります。

本日はご多用の中、当社決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

参考資料

連結貸借対照表サマリー



(百万円)	2025/3末	2025/9末	増減額
現金・預金	42,046	35,827	△6,219
受取手形・売掛金	13,641	14,294	+653
棚卸資産	21,218	22,530	+1,311
その他	5,762	5,409	△353
流動資産	82,669	78,061	△4,607
有形固定資産	83,064	88,080	+5,016
無形固定資産	15,595	14,737	△858
投資その他	6,261	6,184	△76
固定資産	104,921	109,002	+4,081
資産合計	187,590	187,064	△526

設備投資や
自己株式取得等

1DAY工場
設備投資等

(百万円)	2025/3末	2025/9末	増減額
支払手形・買掛金	6,419	6,016	△402
短期有利子負債	3,234	6,869	+3,635
未払金	7,381	4,202	△3,178
その他	9,457	10,578	+1,120
流動負債	26,492	27,666	+1,174
長期有利子負債	71,857	69,861	△1,995
その他	3,111	2,979	△132
固定負債	74,968	72,840	△2,127
負債合計	101,460	100,507	△953
純資産合計	86,129	86,557	+427

2025年9月30日

自己資本比率	45.9%
ネットD/Eレシオ	0.5

現金・預金残高	35,827
有利子負債	76,731

24



Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

2026年3月期 連結業績予想 2025年5月14日予想から変更なし



(百万円)	2025/3期	2026/3期 予想	前年同期比
売上高	121,491	125,000	+2.9%
売上原価	56,456	58,900	+4.3%
(原価率)	46.5%	47.1%	(+0.6pt)
売上総利益	65,034	66,100	+1.6%
販売費及び一般管理費	55,022	55,900	+1.6%
(売上高販管費率)	45.3%	44.7%	(△0.6pt)
営業利益	10,012	10,200	+1.9%
(売上高営業利益率)	8.2%	8.2%	(—)
EBITDA	18,457	19,200	+4.0%
(EBITDAマージン)	15.2%	15.4%	(+0.2pt)
経常利益	9,567	9,500	△0.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,597	5,800	+3.6%

(参考) 為替影響を除くと売上高は+4.4%の伸長を予想

* 2025/3期における実勢レート EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円
 2026/3期(予想)における前提為替レート EUR : 161.2円、USD : 142.6円、CNY : 19.0円

25

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

2026年3月期 連結業績予想（売上高の内訳）

2025年5月14日予想から変更なし 

(百万円)	2025/3期	2026/3期 予想	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	121,491	125,000	+2.9%	+4.4%
ビジョンケア	112,327	116,100	+3.4%	+4.9%
1DAY	30,940	34,700	+12.1%	+12.6%
国内_メルスプラン	22,458	23,300	+3.7%	-
国内_物販	5,740	7,000	+21.9%	-
海外	2,742	4,400	+60.5%	+65.3%
オルソケラトロジー関連	14,889	12,500	△16.0%	△8.1%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	66,496	68,900	+3.6%	+4.3%
ヘルスケア・ライフケア	9,163	8,900	△2.9%	△1.7%
1DAY+その他コンタクトレンズ・レンズケア	97,437	103,600	+6.3%	+6.9%
メルスプラン	49,783	51,000	+2.4%	-

* 2025/3期における実勢レート EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円
 2026/3期(予想)における前提為替レート EUR : 161.2円、USD : 142.6円、CNY : 19.0円

26

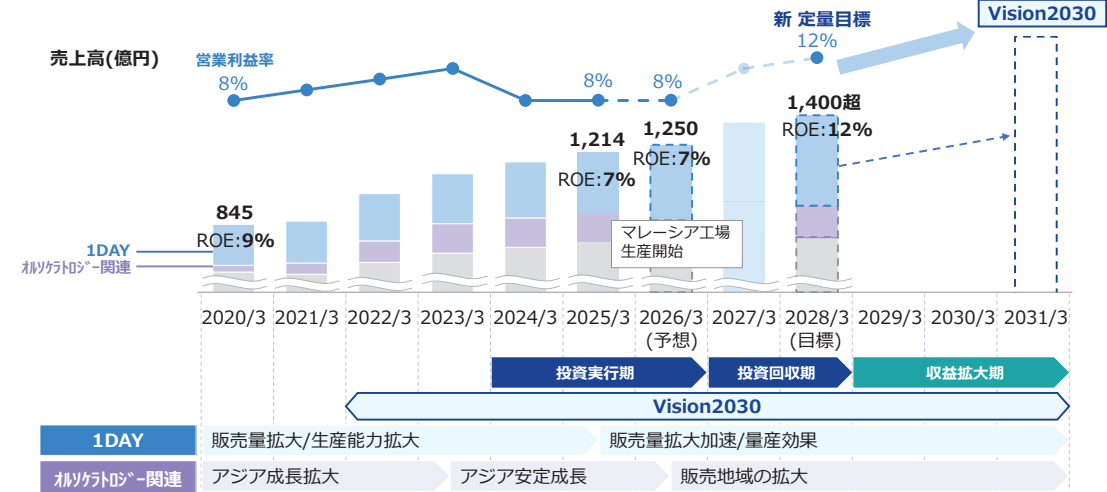


Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

マイルストーン2027の進捗（変更なし）



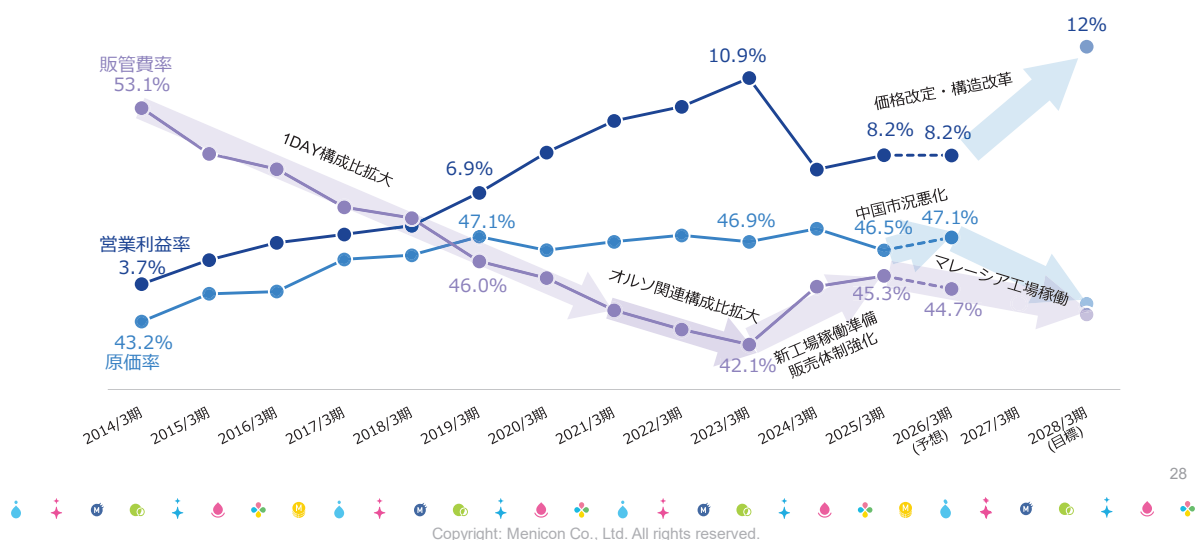
Vision2030の中間地点（2028年3月期）に定量目標を設定



27

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

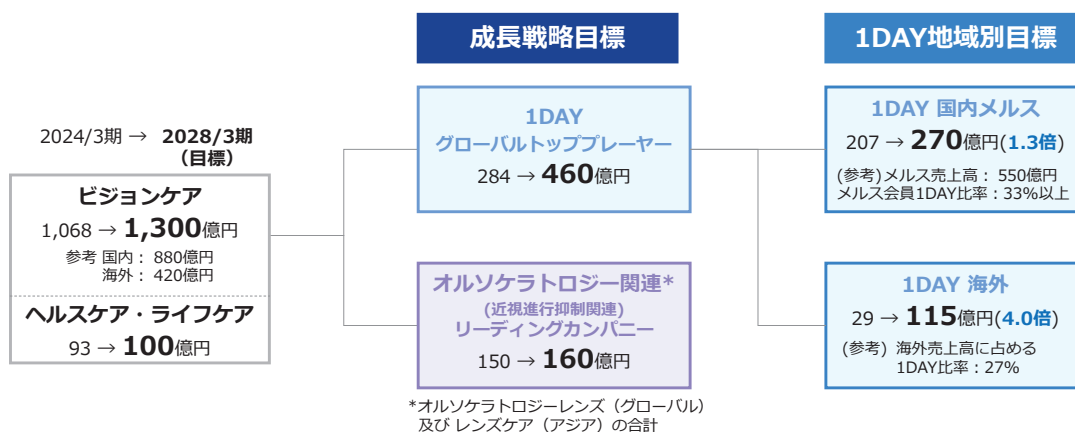
原価率・売上高販管費率・営業利益率推移



成長戦略目標 & 1DAY地域別目標（変更）



成長戦略を実現する事で目標達成を見込む

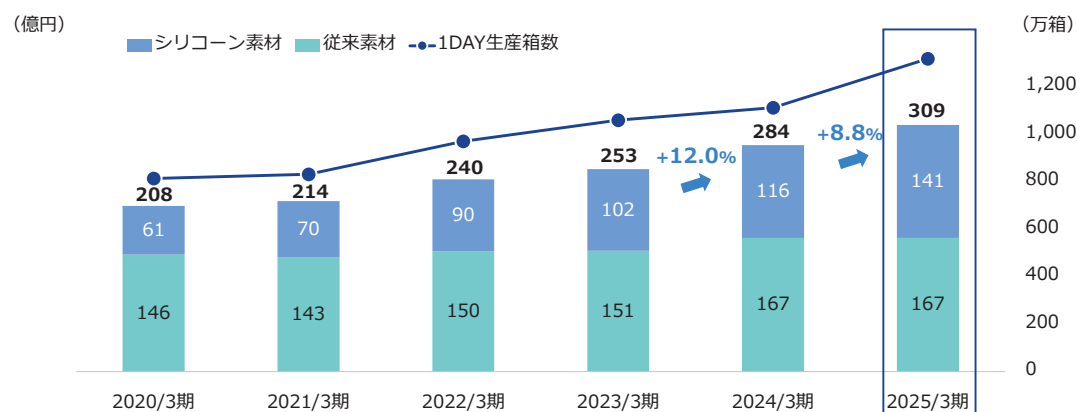


29



Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

生産能力の増強により1DAY売上高が増加



*1DAY売上高：他社からのOEM供給品を含む

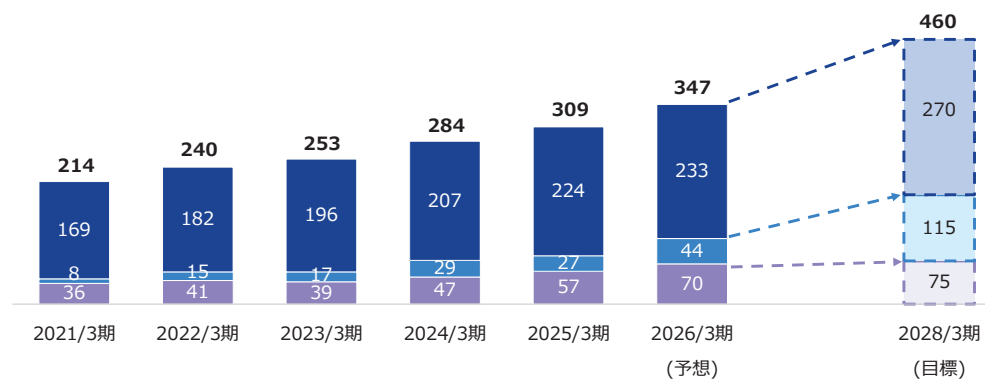
30

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

1DAY売上高予想（売上高の内訳）

国内OEM品導入及び生産能力増強に伴い、メルス(1DAY会員数増加)・海外(欧米中心に販売拡大)での伸長を見込む

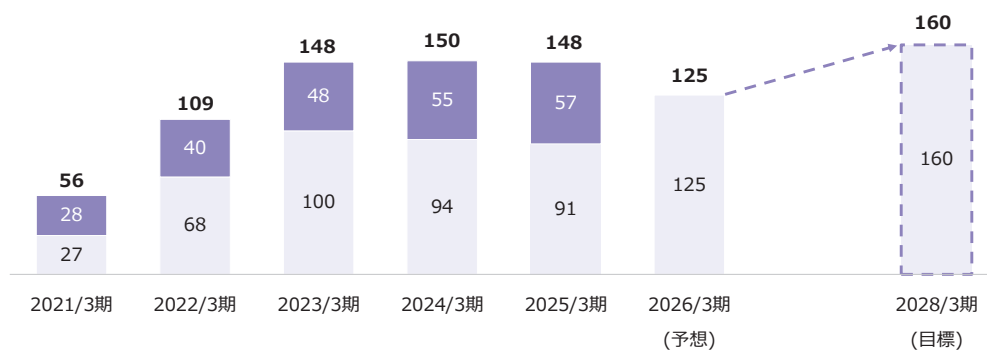
(億円) ■メルス ■海外 ■国内物販



31

中国市場成長停滞による売上減少もその他地域での伸長を予想

（億円） ■ オルソK(グローバル) ■ レンズケア(アジア)



32

Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.

成長性・収益性及び効率性の観点から事業ポートフォリオの見直しを2025年3月期に実施
今後も資本収益性を意識しつつ第2の柱となる事業創出を目指す

ヘルスケア		ライフケア		動物医療	食品
					
生殖補助医療関連 開発・販売		フェムテック商材 開発・販売		開発・販売	販売
クリニック向け ・運動精子選別装置		クリニック/EC販売等 ・妊活サプリメント ・その他フェムテック商材等		動物病院向け/EC販売等 ・動物用眼内レンズ/コンタクトレンズ/手術用機器 ・動物用サプリメント等	食品スーパー/卸業者向け ・鮮魚・米（輸出） ・乾物等（輸入）

免責事項および将来見通しに関する注意事項



免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです
- 当資料に記載された内容は、2025年11月17日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります
- 投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません

お問合せ先

株式会社メニコン 財務&IR部

TEL : 052-935-1646

E-mail : menicon-ir@menicon.co.jp

www.menicon.co.jp/company

34



Copyright: Menicon Co., Ltd. All rights reserved.